**旅行業界、関係機関からの情報を総合的に取りまとめた現状を簡単にご案内いたしします。詳細はDOVA　TRAVEL　EXPRESSでご案内いたします。**

今現在国内に関しましては、コロナ対策調査委員が全国４５０００箇所を直接調査してコロナ対策ができているか直接確認しています。今年度当初から五輪に向けての調整をはじめ何度かGO　TOトラベルキャンペーンの再開を模索しております。この調査も１０月をめどに調査報告書を提出することになっています。今年中にキャンペーン再開の道筋をつけるのではと思われます。もしキャンペーンが安全対策の元実施になりましたら、より安全な所でご案内させて頂く所存です。周年行事をはじめ、研修旅行、海外旅行、社員旅行をはじめ、延期を頂いているお客様には大変申し訳なく思っております。

航空会社は減便しながらお客様の動向を見極め、1年後をめどに通常稼働に向けて日々調整に動いています。現状は宿泊施設の稼働率の差は非常に大きいのが現状です。高級施設、小規模から中規模に関しての予約稼働率はかなり高いのが現状です。予約内訳はあくまで個人旅行がほぼ90パーセントです。今後は抗原検査、ワクチン接種に伴い、旅行実施に向けて動いていくものと考えております。

**感染防止のポイントです。（医療事業者が共有しているものです）**

**・新型コロナウイルス感染の大半は不顕在感染である。**

不顕在感染とは細菌やウイルスなど病原体の感染を受けたにもかかわらず，感染症状を発症していない状態をいう。一般に感染しても必ず発症するとはいえず，大部分がこの不顕性感染となる。感染症状は抗体陽性や遅延型過敏反応などで確認される。不顕性感染の人はしばしば保菌者（キャリア）となり，病原体を排泄し感染源となる可能性が高いので疫学上問題となる。

**・相手が不顕在感染をしている可能性を常に考えて会食などの行動に留意する**。・布やポリエステルのマスクはサージカルマスクに比べ感染防止力が弱い。・ワクチン接種は重症化予防であり感染は防げません。・家族にも感染防止に対する考えを伝え、拡大する家庭内感染の予防を行うようにします。・今までのマスク着用、手洗いも徹底、消毒液の活用、できるだけ離れて会話をするなどは変わらず徹底していってください。

**※自分だけはならないとは絶対に考えないでください。**

現在～6か月まで

一部解禁（緩い規制）

今は個人・小グループが中心、基本は車移動

6ヶ月後予測

一部解禁（緩い規制）

　個人からバス1台程度まで、🚃・✈含む

海外旅行に関しましては非常に厳しい状況が続くことが予想されます。日本からの渡航者に入国制限措置をしている国72か国、入国後に行動制限をしている国146か国になります。

海外旅行が再開されるのに１，外務省の危険情報のレベル引き下げ、２，日本からの旅行者の受け入れの再開、３，日本帰国時の入国規制緩和、４、航空機、その他の輸送交通機関が運行されることが必須の条件です。

72時間以内のPCR検査、陰性証明書の提出等は条件として必要になると思われます。アプリの導入も多くの国で必要かと思われます。

いずれにしてもワクチンの接種、接種後の有効性、旅行中のコロナ対策は絶対に必要になると思われます。現状はこのような状況ですが、半年後には14日の隔離が外れているのではないかと考えられます。

1か月ごとに現状をご連絡させて頂きます。

現在～6カ月

非常に厳しい

基本は旅行としては渡航できない状態

※入国時の隔離をどのようにしていくか現在模索中です。

6ヶ月後予測

非常に厳しい　一部解禁（厳しい規制）



　一部の地域で一定条件のもと渡航規制が外れ、入国時の隔離規制も外れると思われます。

**お知らせ**

**こんな時期だからご相談ください。会社の中で又は皆様のお知り合いで健康面、メンタル面でご心配されている方、不安などがございましたら遠慮なくご相談ください。健康診断の結果から日常生活の悩み、お仕事内のお悩みまで大丈夫です。**

**弊社ではキャリアコンサルタント、保健婦、上級心理アドバイザーと連携をして解決に取り組みます。（私も現在3月のキャリアコンサルティングの国家試験に向けて勉強中です。）旅行だけでなく、幅広くご相談に応じることができます。お電話、対面、オンラインでのすべての対応が可能ですのでお気軽に土橋までご連絡してください。それぞれに合ったご提案をさせて頂きますのでご安心ください。**